

令和4年度区・自治会 デジタル化推進モデル事業報告会

健康ヶ丘区公民館

Wi-Fi環境を整備・活用したプロジェクターの整備事業

2023.2.25



健康ヶ丘区自治会

西津 正晃(担当)

尾崎 友彦(発表)

事業の背景

Wi-Fi環境

- 公民館内は有線でのネット環境のみ

省紙化

- 市内有数の区民数、組数⇒大量の紙を消費
- 市のゼロカーボンの施策を後押し

危機管理

- 隣接する小学校の体育館は指定避難所
- 災害時は多くのネット難民が想定される

事業の目的

- 公民館のWi-Fiを整備し、デジタル化の第1ステップとする。
- 会議では極力プロジェクターを使用し、省紙化・視覚化に努める。(Wi-Fi対応の無線接続)
- 指定避難所の災害時の連絡体制を確保。

Wi-Fi・プロジェクターの整備事業

メッシュWi-Fiを導入し、Wi-Fi環境を整備する

- 現在契約の有線接続を更新し、Wi-Fiを導入

プロジェクター(Wi-Fi内蔵)・大型スクリーンを導入する

- 会議での省紙化・視覚化を目指し、整備
- 無線の遠隔で、パソコンやスマホから投影可

無線Wi-Fiを活用し、災害対策本部としての役割を果たす

- 災害時の自主防災組織の災害対策本部
- 災害時の避難所のネット難民を保護する

Wi-Fi・プロジェクターの整備事業

メッシュWi-Fiを導入し、Wi-Fi環境を整備する

- Wi-Fiの導入で、デジタル化の第1ステップ

プロジェクター(Wi-Fi内蔵)・大型スクリーンを整備する

- 極力、省紙化を行い、CO2排出量を削減
- 市のゼロカーボンの推進の施策を後押し

無線Wi-Fiを活用し、災害対策本部としての役割を果たす

- 約100台の不特定多数の機器の同時接続が可能

パソコンとプロジェクター（遠隔接続）

事業の成果（写真）



Wi-FiのSSID・パスワードの掲示



健康ヶ丘区公民館の位置



指定避難所と公民館の配置

健康ヶ丘区公民館の配置



出所 : Google map

指定避難所と公民館の配置

健康ヶ丘区公民館の配置



交付金の活用内容

項目	内容	金額
メッシュWi-Fi 初期費用	有線接続 契約更新費	3,300
LAN配線設備 工事	同上	33,000
プロジェクター購入 費(Wi-Fi内蔵)	エプソン製	238,700
スクリーン購入 費(2.6×1.6m)	大型モバイル スクリーン	107,800
プロジェクター台	可動式	36,100
	合計	418,900

8月 市からの事業の照会を受ける

8月 担当者がメーカー・電気店に事前ヒアリング

8月 本部役員会で事業の方向性を議論

8月 区総会でデジタル化は全会一致で可決

9月 市に交付申請書を提出

11月 メッシュWi-Fi・プロジェクター等を導入

2月 今回の報告会の実施

4月 担当を選任し、規約を改正し、明確化

4月 推進チームを編成。区の広報で導入内容を周知

- デジタル化の審議は、区総会において**全会一致で可決**されましたので、**反省点は特にありません。**

- 当初、**初期費用**は市の**交付金**を活用しますが、**更新費用等**には、**区の単独費**が必要なことなどから、**デジタル化自体に慎重な意見**が多く寄せられ、**区の本部役員内**では、**その方針を議論**しました。

- **次年度**には **本部役員会**において**推進チームメンバー**を選任し当区における**デジタル化の今後の進め方やあり方**を検討の上、**本部役員会、区総会にて提案、審議した上で合意形成の上推進**することが **必要と**考えます。

- デジタル化の導入にあたっては、区内での整備方針の合意形成や整備方法の検討が不可欠です。今回は、メーカーや電器店との協議やプロジェクターやスクリーンの機種選定には苦労しました。
- 今回の区担当者は、デジタル化の中長期的な視点を持ち、近未来における区の事務の効率化を目指すための第1歩としての方策を考えました。
- 他の団体が導入する際には、デジタル機器に関する知識と中長期的な視点を持った担当者、推進チームの選任が必要不可欠と考えます。

**自治会の事務の効率化のために
検討を継続推進します!!**

ご静聴ありがとうございました



健康ヶ丘区自治会